

医療法人 光善会 長崎百合野病院

# 百合野ニュース

- 1 ご挨拶／田島義証 院長
- 2 がん治療の歴史を紐解いて  
一人が幸せになれる医療を提供するために
- 3 医療法人光善会「コスモス」、  
訪問看護ステーションコスモスの紹介
- 4 理学療法士等による訪問看護について
- 5 令和7年度 百合野自治会夏祭りへの参加
- 6 ハロウィンにピッタリ デザートレシピ
- 7 長与町立高田中学校より  
手指消毒用ディスペンサーの寄贈式



長崎百合野病院の理念

人にやさしい、温かい病院  
安全で質の高い医療、品格のある病院  
地域から信頼され、選ばれる病院

## ご挨拶

院長 田島 義証



今年は6月末には早々に梅雨が明け、暑くて長い夏になりました。気温は各所で40℃を超える危険な暑さ、また線状降水帯による局地的な豪雨が発生するなど、異常気象が続きました。地球温暖化による気温の上昇とラニーニャ現象が重なったためと考えられています。

暑すぎたためか、去年に続いて今年も「蚊」が少なかったように感じます。蚊と言えば、刺される時に痛みを全く感じません。蚊の針はつるつるではなくノコギリのようなギザギザになっていて、この構造が刺した時の痛みを抑えるそうです。注射を刺されるのはだれでも嫌があります。ましてや子供はなおさらです。また、生まれつき膵臓のインスリン分泌が少ない「I型糖尿病」の患者さんは、1日に複数回のインスリン注射が必要となります。現在、糖尿病の患者さんは全国で700万人、インスリンの自己注射を行なっている患者さんは60万人以上いると言われています。インスリンの量を決定するためには血糖値の測定が必要で、この時にも針が必要になりますが、蚊を生体模倣（バイオミメティクス）した穿刺採血用の「痛くない注射針」も実用化されています。

注射針は、例えば、輸血を行う際には太い針が必要なのでピンク色の18ゲージ（18G）、採血の時はそれより細い黒の22G、インフルエンザワクチンなどの皮下注射の時にはさらに細い

茶色の26Gの針を使用します。このように針の太さはゲージ数が増えるほど細くなるのですが、「注射の痛みを少しでも和らげてあげたい」との思いで、世界一細い針に挑戦して作られた「ナノパス33」という、その名の通り33Gの、先端の直径が僅か0.2mm、あの細い26G針の半分以下の太さのインスリン注射針があります。開発を手掛けたのは、東京墨田区にある小さな町工場でした。単に細い針では薬を注入する際に抵抗が強くなるので、その対策として注射針が先に行くほど細くなる構造を目指しました。これは世界初の試みでした。その手法を確立するまでに2年、安定した品質で大量生産を行えるまでに、さらに1年を要しました。そして、2005年に発売され、現在、日本のみならず世界中の糖尿病の患者さんに大きく貢献しています。しかし、残念なことにその町工場は5年前に廃業となっています。原因は人材不足でした。

人材の確保と育成は病院においても重要な課題で、しかも時間のかかる仕事です。本院では「人材確保支援室」を設置して新たな人材を確保しながら、特定看護師による医師業務のタスク・シフトや職種間のタスク・シフト/シェアの強化、准看護師から正看護師への資格取得支援、福利厚生充実、業務の見直しによる業務負担の軽減等を行いながら優秀な人材を育成することのできる環境整備に努めています。

## 知ってほしい病気の話

## がん治療の歴史を紐解いて 一人が幸せになれる医療を提供するために



外科 平山 昂仙

昭和56年以降のおよそ40年間、日本人の死因の第一位は『がん』です。このコラムでは、長い間人々を悩ませ続けている『がん』、特に私の専門領域である胃癌・大腸癌の歴史を紐解いて、現在の診療と照らし合わせたいと思います。

胃癌とは、人類の誕生以来長い間『知られざる病気』と言われ、中世ヨーロッパでは『手のつけられない病』として食事療法や薬草によって治療されてきました。18～19世紀初頭、『胃のがん』というものが認識されるようになり、1879年に世界で初めて『胃切除術』による外科治療術が行われました。しかし術後は5日間しか生き延びなかったそうです。20世紀になって世界中で広く胃癌の手術が行われるようになり、1950年代には抗がん剤治療が登場。1990年によく内視鏡（胃カメラ）での胃癌治療が始まりました。21世紀になるとピロリ菌の除菌や腹腔鏡手術、抗がん剤治療など胃癌治療はめざましい進展を見せ、この100年で大きな流れで進化してきました。

大腸癌は古代より『腸の腫瘍、直腸の硬結』と言われ、18世紀にその実態が『大腸のがん』として認識されるようになるも、やはり治療法は浣腸・食事療法・薬草治療のみでした。19世紀後半になってようやく外科手術が始まりましたが、1908年に初めて発表された直腸癌の手術（マイルズ手術）は、手術死亡率が20～40%もあったそうです。大腸癌も胃癌と同様に1930年代以降に手術死亡率が大きく改善し、1970年代の抗がん剤・放射線治療の登場、腹腔鏡手術導入、2000年代以降の抗がん剤治療の目覚ましい進歩によって、生存率が各段に上昇しました。

ここ数年、患者さんがどんどん高齢化しています。私が医師になった2008年頃には90歳

の患者さんは珍しく、当然手術なんてもってのほかでしたが、最近では90代でもピンピンしている方が増えたなあと感じ、自分の仕事の内容も知らぬ間に高齢者向けにシフトしているようです。

最近嬉しいことがありました。直腸癌の患者さんの娘さんが、『周りには皆、91歳にもなって手術なんてしなくていいと言ったけど、手術を受けてもう2年も元気に生きている。今はもう93歳。先生に手術してもらって本当に良かった』と言ってくださいました。こんな時代、私たちは90代の患者さんに対するがん治療の在り方について本当に悩みます。そんな中頂いたこの言葉にどれだけ喜び、どれだけ勇気づけられたことでしょうか！

『外科』＝『切ったはったの世界』のように思えるかもしれません。確かに手術によって日本人の『がん』患者の寿命を延ばすことは私たち外科医にしかできない仕事です。しかし私たちの最も大事な仕事は『病気の人を切る』ことではなく、『病気にかかった人がいちばん幸せに生きる最良の選択肢を提供する』ことなのだ、と、ようやく気付くことができました。その中には手術、抗がん剤、放射線、緩和治療も含めた全ての治療の選択肢が存在し、私たちを頼ってきてくれた患者さん一人ひとりが『最も幸せに生きるため』に適した治療方法をいつも模索しています。

もし自分のこと、あるいは親や子供の病気のことですら『どうするのが一番良いのだろうか？』と迷ったら、一度相談に来てください。今の長崎百合野病院には、その希望に応えるために信頼できるスタッフが揃っていて、あなたが求める答えにちょっとでも近い選択肢を提供しようとして一生懸命悩んで、良い答えを導き出してくれるかもしれません。

# Information

## 医療法人光善会「コスモス」、訪問看護ステーションコスモスの紹介

長崎百合野病院から徒歩5分の所に、訪問看護ステーション「コスモス」/訪問看護事業・居宅介護支援事業、ホームヘルプステーション「コスモス」の事務所があります。

訪問看護事業は平成9年4月に開設（県内20番目）、居宅介護支援事業・訪問介護事業は平成12年4月に開設。

近年、在宅医療の需要が増えています。その理由に、高齢者の増加、自分らしい最期を希望する人の増加、地域医療構想や医療人材不足を反映し病床が減少していることがあります。

「本人が家で過ごしたいと言っているけど家で見るのは不安」「床ずれの処置や点滴は家で出来るの?」「人生の最後は家で看取ってあげたい」などの不安・悩みがある方は、ぜひ訪問看護をご利用ください。



### \*職員構成

○訪問看護事業：看護師6名・理学療法士3名・言語聴覚士1名・事務員1名

○居宅介護支援事業：看護師1名

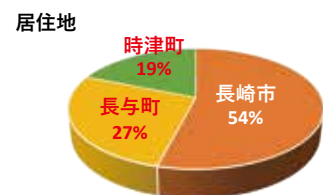
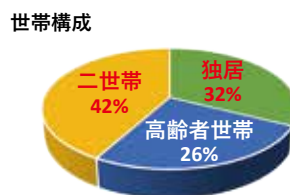
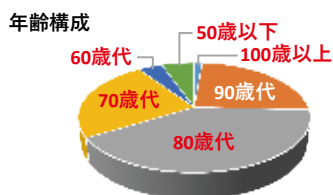
○ホームヘルプステーション「コスモス」：常勤介護福祉士4名・登録ヘルパー10名・事務員1名

### \*理念

1. あなたの価値観を大切にし、あなたらしく過ごせるように支援します
2. あなたとご家族が安心して過ごせるようにチームで支援します
3. 最後まで自宅で過ごしたいという気持ちに寄り添い支援します

ご自宅で暮らしたいと思われる方のご自宅へ訪問し専門性の高い看護・介護を提供しています。

### \*訪問看護利用者状況



がん患者さんのターミナルケア、特定疾患の方、在宅酸素・吸引・人工肛門・人工膀胱・胃ろう・尿管カテーテル・点滴など医療依存度の高い方への対応も行っています。利用者ご本人はもちろん、ご家族の要望に合わせて、満足していただける看護を個別に提供し緊急対応も可能です。ご家族の支援も大切にしています。

当訪問看護を利用された方は、「もっと早くにお願いすればよかった」「訪問を楽しみにしています」「最期を家で過ごす事が出来て良かった」「コスモスさんが一番頼りになった」「いつでも電話できるので安心」など

嬉しいご意見と皆さんの笑顔が私達の原動力になっています。ご縁が繋がることをお待ちしております。

## 理学療法士等による訪問看護について

### ＊所属スタッフ

理学療法士3名、言語聴覚士1名が在籍しています。  
長崎百合野病院で病棟業務と兼任しながら従事しています。兼任することで、病棟スタッフと連携を図り、早期より退院に向けた支援を行う事ができます。また、言語聴覚士は令和7年8月より百合野病院の関連施設であるデイケア「コスモス」にて口腔機能の評価や指導も開始しました。

### ＊理学療法士等による訪問看護

理学療法士や言語聴覚士が看護業務の補助業務としてご自宅に訪問し、生活に沿ったりハビリテーションを行っています。

### ＊業務内容と役割

- 理学療法士：怪我や病気、加齢によって身体機能が低下し、今まで出来ていた動作が難しくなってきた方、在宅生活に不安を感じる方に対して専門的な視点から身体機能に対する練習や環境調整、トイレ動作や入浴動作といった日常生活に沿った練習を行います。利用者様の生活の質の向上とご家族様の介護負担軽減を図り、よりよい在宅生活を続けて行けるように支援していきます。
- 言語聴覚士：「自己実現」「社会参加」「食べる喜び」に関して着目し、「嚥下障害」や「失語症・構音障害」に対して「何が苦手であるか」「どうすれば目標が達成できるか」を利用者様と一緒に考えながら寄り添っています。また、パーキンソン病などの神経難病や舌癌、食道癌に対する支援も行っています。

### ＊対象者

介護保険を利用してリハビリを受けられます。介護保険をお持ちでなくても、筋萎縮性側索硬化症や多発性硬化症等で主治医が必要と判断した場合は医療保険を利用してリハビリを受けられることもあります。  
※介護老人保健施設（老健）等に入所されている方は対象外となります。

### ＊訪問可能な地域

長与町や時津町、長崎市を中心に活動しています。

### ＊利用料金

例）長与・時津町在住の方が介護保険にて利用した場合の1回（40分）あたりの金額

利用者様の負担額（負担割合や公費、加算内容によって異なります）			
	1割	2割	3割
要介護認定の方	600円	1200円	1800円
要支援認定の方	580円	1160円	1740円

※診療報酬・介護報酬に準じた利用料金になります。詳細は各訪問看護ステーションにお問合せください。

### ＊利用したい場合

担当ケアマネージャーや近隣地域包括支援センター、病院の地域連携室を通してご相談ください。

＊お問い合わせ

訪問看護ステーション「コスモス」  
TEL：095-857-8800

## 令和7年度 百合野自治会夏祭りへの参加

リハビリテーション科 阪本忠宥

百合野自治会夏祭りは、名前の通り百合野自治会様が主催されているお祭りで、長崎百合野病院も例年協賛させていただいています。今年度は8/23(土)に開催されました。

現在、私は厚生委員に所属しており、今回その委員会活動の一環として当院からは、放射線科、検査科、リハビリテーション科より計11名が参加しました。

夏の盛りで大変暑い環境ではありましたが、会場である百合野児童公園には多くの地域住民の方々にお越しいただき、たいへん賑わいのあるお祭りとなりました。

当院からは、今年も射的を出店し、地域子ども達とその家族はもちろんのこと、多くの当院職員も足を運んでくれました。院内とは違った形で地域の方々と関わる事ができる良い機会となりました。

また、多くの方の支えがあり、今回の夏祭りを無事に終えることができました。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



## ハロウィンにピッタリ デザートレシピ

### かぼちゃプリン



#### ★材料 1人分★

かぼちゃ	25g
牛乳	50ml
砂糖	6g
バニラエッセンス	少々
ゼラチン	1.6g
水	10ml



#### 作り方

冷凍のかぼちゃを使うと、種を取ったり、切ったりする手間が省けます！

- ① ゼラチンを水でふやかす。
- ② かぼちゃの種と皮を取り除き、耐熱容器に入れ500Wの電子レンジでかぼちゃがやわらかくなるまで4～5分程加熱する。
- ③ ②をミキサーやフードプロセッサーにかけてペースト状にする。
- ④ 鍋に③と牛乳、砂糖を加えて火にかけ砂糖を溶かす。
- ⑤ 砂糖が溶けたら①を加え、完全に煮溶かし、バニラエッセンスを加え鍋ふちが沸騰したら火を止める。
- ⑥ あら熱がとれたら生クリームを加え良く混ぜバットに流し、冷やし固める。

## 長与町立高田中学校より 手指消毒用ディスペンサーの寄贈式

高田中学校では、毎年、「総合的な学習の時間」の取組の一環として、起業体験学習や地域貢献活動を行われており、中学校の敷地内にある梅の木から採取された果実を商品として加工した上で、学校祭にて販売し、その収益金の一部を用いて、地域の医療・福祉関連施設への支援を生徒さんが行われています。

今回、『高献』という起業体験学習を通して、その収益で、長崎百合野病院へ手指消毒用ディスペンサーを寄贈して下さいました。



# 救急告示病院

診療時間

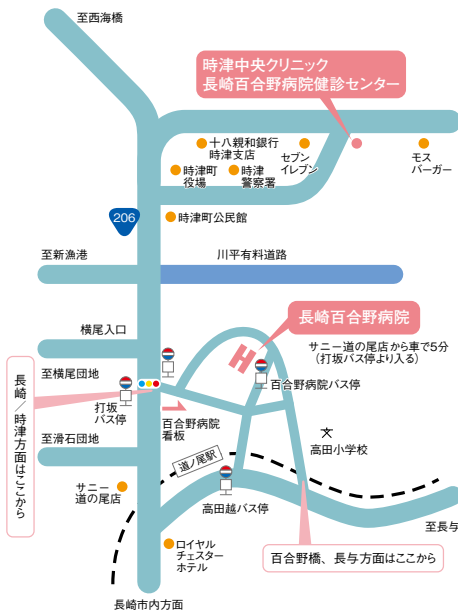
平日：8時30分～12時00分／13時00分～17時00分  
土曜日：8時30分～12時00分

休診日

日曜日・祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

**ただし急患の方は、24時間受け付けます**

		月	火	水	木	金	土
午前	整形外科	瀬良	鈴木	森	瀬良	鈴木	常勤医 で対応
		寺本	玉井	梶山 長大整形外科	寺本	玉井	
		横田 長大整形外科	森	10:00～ 寺本	森		
	内科	(新患) 橋本	綾香	朝野 長大呼吸器	豆谷	大坪	常勤医 で対応
		(再診) 朝野 長大呼吸器	大坪 呼吸器	大坪 呼吸器	大曲 消化器	橋本 呼吸器	
		(再診)	豆谷 消化器	橋本 呼吸器	綾香 総合診療	豆谷 消化器	
外科	田島	平山	田島	平山	田島	交替制	
脳外科			日宇 長大脳外科	馬場 長大脳外科			
午後	外科	平山	足立 長大外科	平山	金高 長大外科	平山	
	専門外来	綾香 総合診療	橋本 呼吸器	本川 長大循環器	大坪 呼吸器	竹中 長大循環器	
		睡眠時無呼吸 橋本					
リハビリ科(午前・午後)	立石	谷口	谷口	立石/谷口 (午前) (午後)	立石	常勤医で対応	



医療法人 光善会 **長崎百合野病院**

〒851-2103 長崎県西彼杵郡時津町元村郷 1155-2

TEL.095-857-3366 FAX.095-856-6663

HP <http://www.yurinohp.jp> E-mail [yurinojm@cello.ocn.ne.jp](mailto:yurinojm@cello.ocn.ne.jp)

